



Title	北海道大学医学部アイヌ人骨収蔵経緯に関する調査報告書（追録）
Citation	1-165 (2018). 北海道大学医学部アイヌ人骨収蔵経緯に関する調査報告書（追録）. 北海道大学
Issue Date	2018-03-20
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/82909
Rights	本報告書の著作権は北海道大学にあります
Type	report
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	hokkaidoU_report_addendum_201803_Part5.pdf (Part5)



[Instructions for use](#)

埋藏物發掘屆目次

一 發掘品目錄

- 一 品 質
- 二 形 狀
- 三 年 月 日
- 四 場 所
- 五 考 按

二 第一圖 出越郡八雲町宇遊築部濱地形見取略圖

第二圖 XXXXXXXXXX 氏私有牧場附近地形見取略圖 一

第三圖 全 二

第四圖 八雲町有地附近地形見取略圖 一

第五圖 全 二

三 副埋葬品寫真

【資料6-8】 1934年10月 4 日付見玉作左衛門宛て医学部會計係「領収証」 《北海道帝国大学医学部罫紙 1 枚》

領 収 証
金額 百弍拾
但十月十四日、雪野三ノ支店格集券券料
トシ五拾弍金銀三百弍拾正ニ取係也
昭和九年十月四日
醫學部會計係
解剖學教室
完全教授殿
北海道帝國大學醫學部

【資料7-1】 1934年10月付北海道帝国大学医学部宛て7A・7B・7C「承諾書」《和紙1枚》

承 諾 書

候同也、
 研究、
 為貴學部、
 遺骨、
 學術
 也、
 答、
 掘下也、
 交在、
 承諾、
 傳

昭和九年十月

北海道帝国大学医学部

中

【資料7-2】 1934年10月25日付十勝郡浦幌村長高橋熊太郎「承諾書」《十勝郡浦幌村罫紙1枚》

十勝郡浦幌村

承諾書

本村字 [REDACTED] 二 埋葬之戶人、
人為奔振之旨、承諾候也

昭和九年十月二十五日

十勝郡浦幌村長高橋熊太郎

【資料7-3】 1934年10月25日付北海道庁長官佐上信一宛て兒玉作左衛門「人骨発掘願」《和紙1枚》

人骨発掘願

一、目的 學術研究、爲
二、場所 北海道十勝郡浦幌村

三、月日 昭和九年十月廿五日ヨリ三日間

四、骨骸分志法 北海道帝國大學醫學部保存

五、發掘地管理者、承諾書一通添附(別紙)

北海道帝國大學醫學部

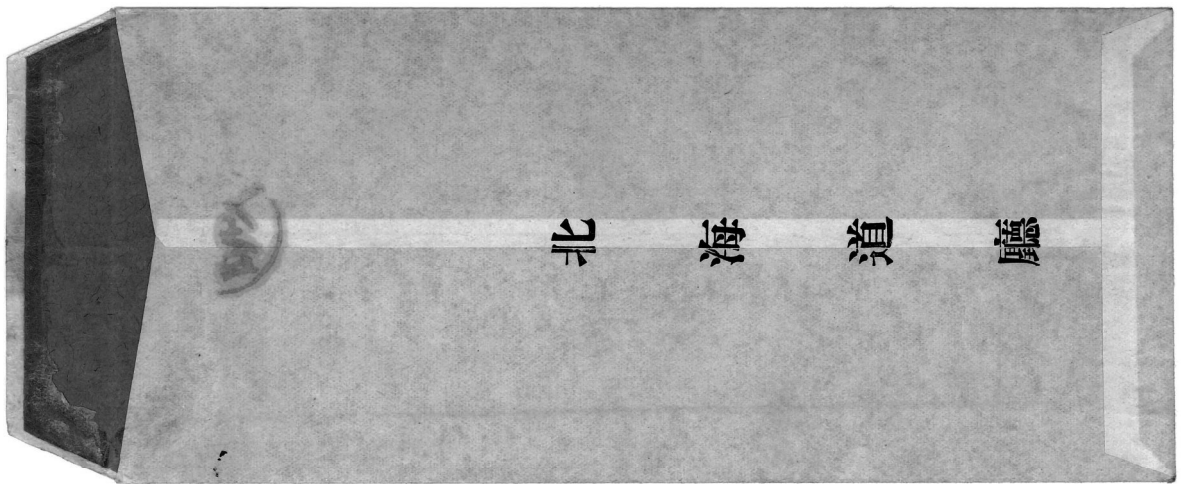
教授 兒玉作左衛門

昭和九年十月廿五日

北海道廳長官佐上信一殿

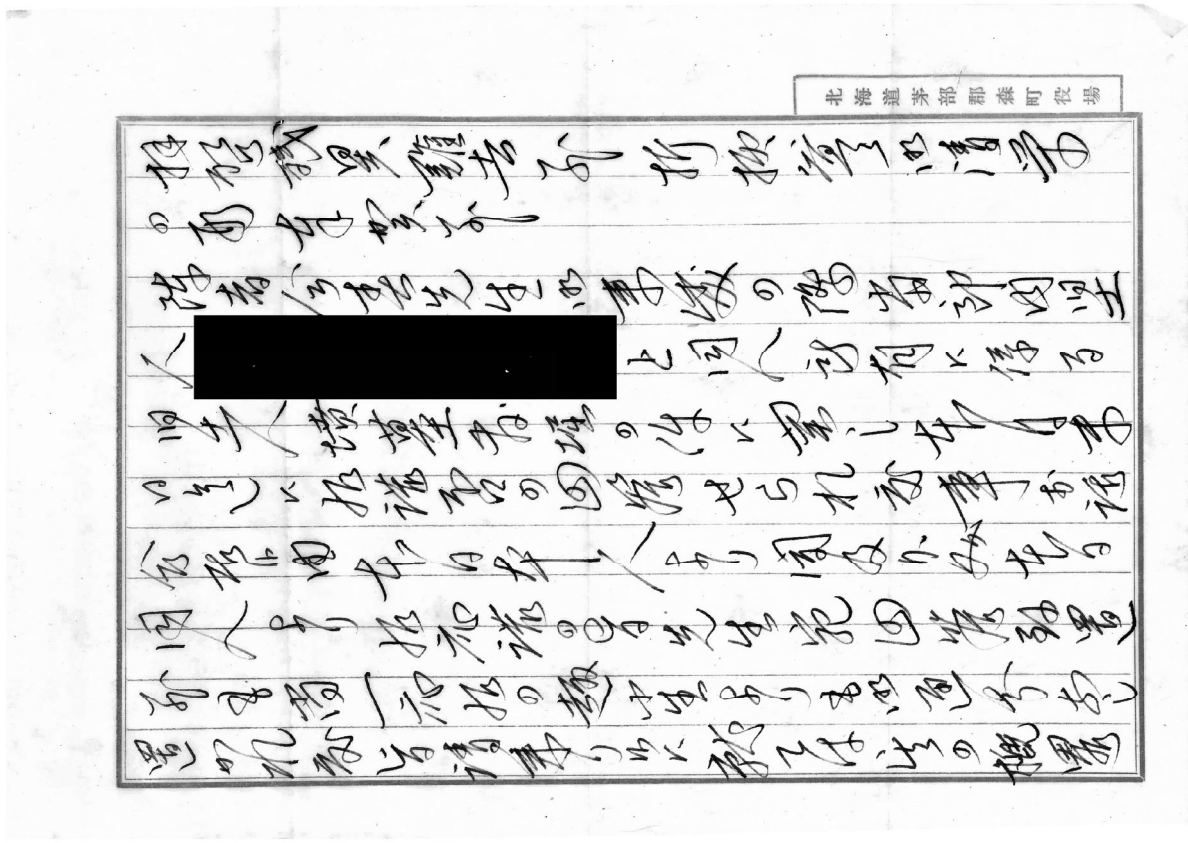


【資料8-1】 森警察署長宛て北海道庁封筒



森警察署長殿

【資料8-2】 1934年8月27日付見玉作左衛門宛て森町役場渡辺庄八書簡 《北海道茅部郡森町役場罫紙3枚、封筒1通》



北海道茅部郡森町役場

拝啓 貴鑑者 折換 後 遺 留 手
。 有 身 命 可
諸 君 台 者 先生 遺 事 誠 の 際 者 部 内 望
人 [Redacted] 上 同 人 可 有 火 傳 百
里 大 墳 墓 有 理 の 事 一 事 一 事 有 事
口 之 以 始 諸 君 の 回 答 也 ら 札 交 奉 有 事
為 由 由 九 日 行 入 可 同 及 不 如 九 日
同 人 身 始 諸 君 の 先生 宛 回 答 御 是
可 事 而 一 札 之 趣 中 生 身 事 也 有 事
思 以 札 交 諸 君 以 札 交 事 之 概 略

在申下

本人の申出は、概して、
規的の申出及び指導に、
望しむる。其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

之の申出に、

其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

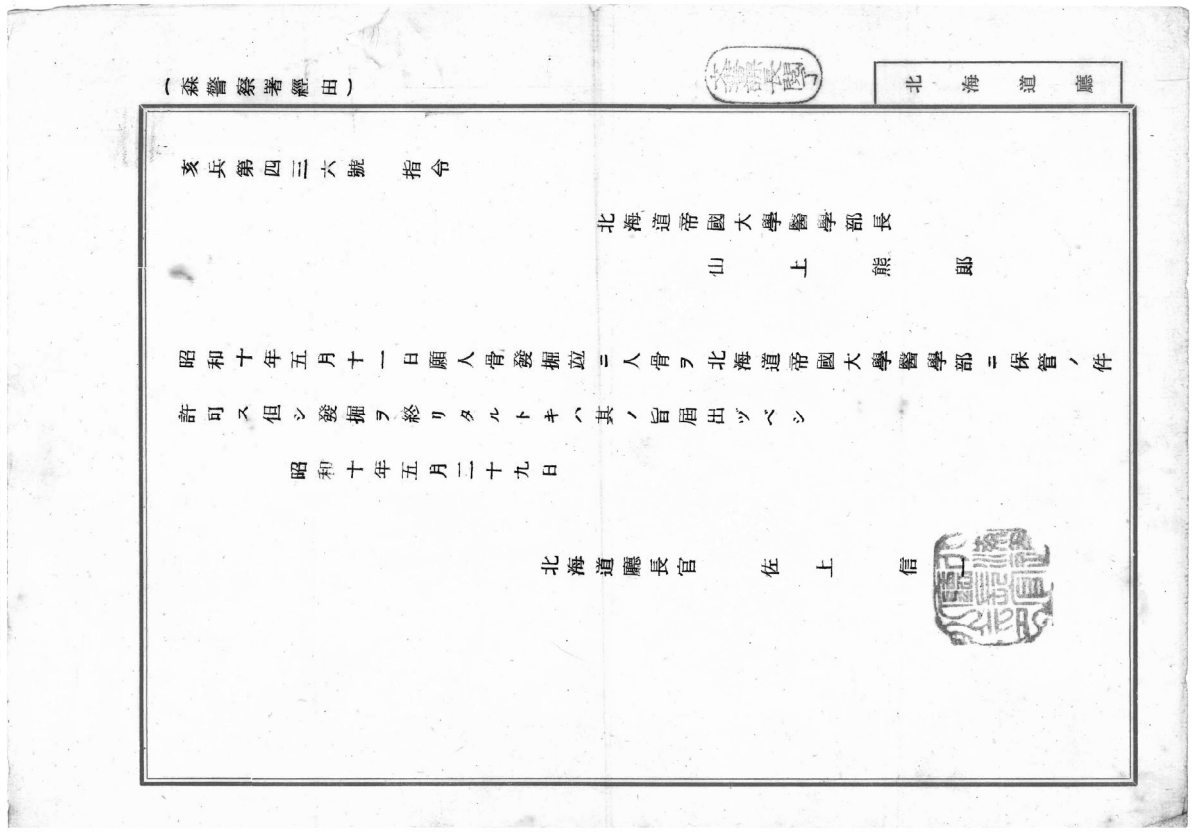
其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

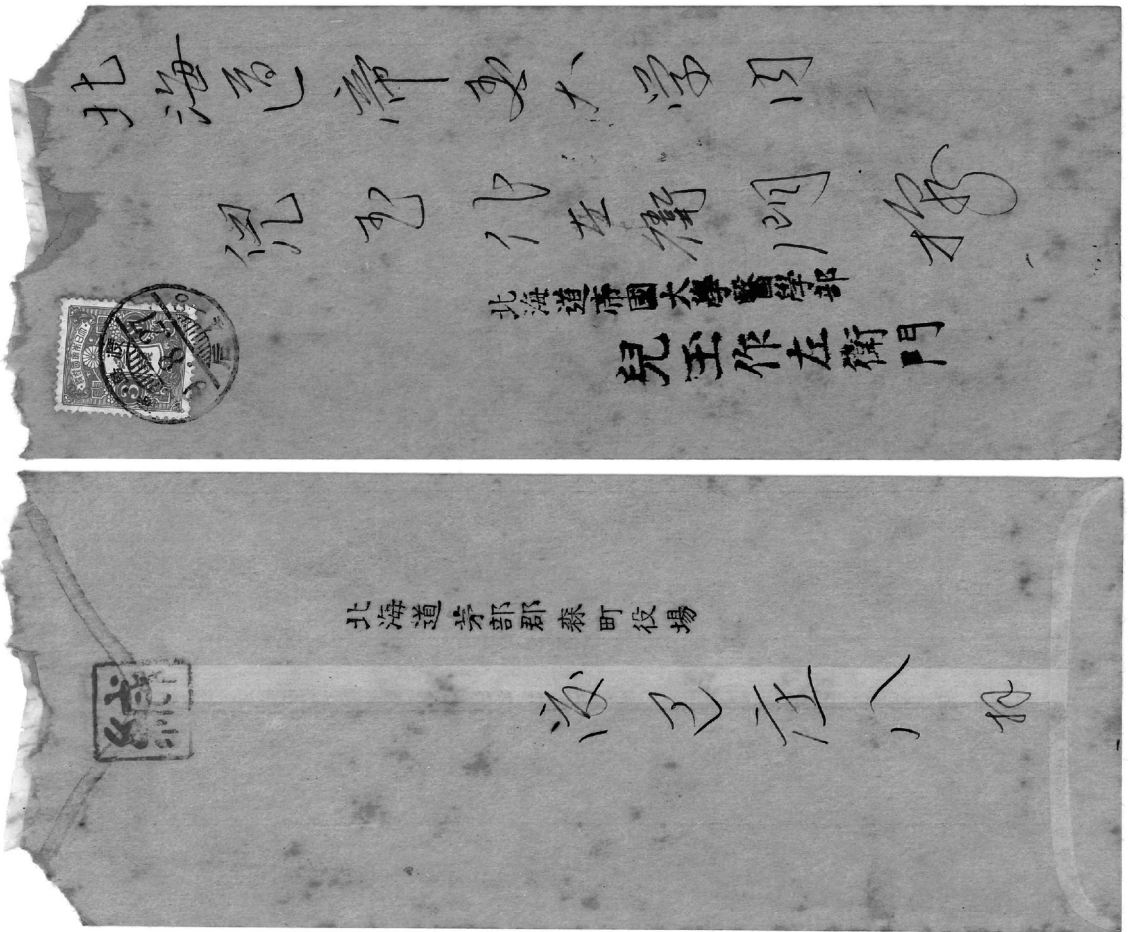
其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

其の趣意は、
科学的信心。之は、
物産改良の爲め、
之の申出に、

【資料8-3】 1935年5月29日付北海道帝国大学医学部長宛て北海道庁長官
「亥兵第四三六号 指令」 《北海道庁用紙1枚》



【資料8-2】



【資料8-4】1935年5月付北海道庁長官佐上信一宛て「人骨発掘ニ関スル許可願」《北海道庁罫紙1枚》

第一種 准許状等全陸軍 陸軍 様(用紙)

人骨発掘ニ関スル許可願

一 発掘ノ目的

二 発掘ノ場所

三 発掘ノ年月日

四 人骨ノ處分方法

右ノ通人骨発掘致度候間御許可相成度別紙南端
書類別紙関係書類ノ發掘地ノ所有者管理者又ノ占
有者ノ承諾書添付ノ下添付此致相願候也

昭和十年五月 日

住所

氏

名印

北海道廳長官佐上信一殿

北海道廳

ムコトナリニシテ。其後北海道廳ニ於テハ、アタシ、筆ヲ増淡

スルニ見エトモ、或ハ、アタシ、外圍ニ、春ノハ、此モ、カシト、自ク、カシ

屢々、新少紙上ニ、オモテ、十月、中旬、向、廳、令、ヲ、出シ、テ、ア、又、城、差

各、城、差、令、ノ、出、シ、セ、シ、カ、シ、テ、之、ヲ、管、理、ス、社、事、長、ノ

課長ニ、假令、大、字、ト、出、見、之、シ、テ、攝、ノ、モ、テ、志、向、ト、シ、七、日、衆、議

以、シ、テ、所、以、折、好、之、道、廳、ノ、役、人、ノ、異、部、的、ノ、シ、テ、十、有

ニ、社、事、長、ノ、得、學、生、ニ、子、部、部、長、ノ、更、進、ノ、見、シ、カ、シ

北海道帝國大學

新少紙記者~~ニ~~。此、テ、我、等、ノ、懇、懇、ヲ、シ、テ、遂、ニ、修、シ

況、得、至、リ、即、却、シ、テ、分、リ、マ、カ、シ、現、在、テ、道、廳、内、ニ、分、リ

反、對、論、者、ノ、ア、早、油、斷、ノ、案、十、テ、傾、向、アリ、マ、ス。本、年、~~即~~

ニ、テ、早、速、ニ、森、野、~~等~~、氏、ノ、土、地、規、模、限、リ

官、理、者、ノ、政、策、強、ト、共、ニ、道、廳、ニ、提、出、シ、タ、シ、タ、ガ、形、

シ、テ、許、可、指、令、ガ、表、シ、タ、シ、テ、森、野、~~等~~、~~等~~、~~等~~、之、ノ、

森、野、~~等~~、取、り、マ、シ、タ

眼 毎一丸地 摺字元

3.

状態 (一) 埋葬

宝 18/1 作

昔

墓 墓

切 除 墓 墓 (二)

~~埋葬~~

発掘地帯ハ三層トナリ上層ハ三尺ハ黒土、
 中層ハ砂地三四尺乃至六尺、下層ハ火山灰其甚ク硬ク、
 ソテ骨ハ二火山灰、直上ニ見テ骨トシテ、
 埋葬ハ全部屈葬ナリ棺ヲ有スモト有シテモナク、
 コト別葬品ハ極ク少シ、
 ハ骨アト又、全部伸葬ヲ顯ク東ニ向テ別葬品カ
 處ニアリタノニ比ベト僅カ三十埋ニ離レテ中ナ
 間ハ非ナシ差異ナルヲ認ルルナリ、
 山越由上ツ関所ガリソヨリ以南ツ華邑ト稱ス
 陽籍奉行、直線、
 物ニテ、統法外ニ思ヘタリ、

北海道帝國大學

本林住ハアト又ハ可成知人的、生現様式ナリ、
 強ク之ヲ平葬情モ之ニヨリタモ骨見子ガ推定セシ
 数、
 不ニ甚ク興味深ク所見、即チニ本林野ガ掘アト又人
 跡甚クハ大縁、
 之ハ明クニ埋葬情、
 事ナシトナリ、
 凡ク、
 其ノ、
 行ハク、
 多ク、
 行ハク、
 多ク、

2- 北 陽 院
 宝 18/1 作
 大 正 十 三 年

② 「人夫雇用・賃金に関するメモランダム」 《洋紙1枚》

11日	1	1	1	1	0
12	1	1	1	1	1
13	1	1	1	1	1
14	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2
15	1	1	1	1	1
16	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2
計	5日	5日	5日	4日	4日

1日	1日	1日	1日
6日00	6日00	4日80	4日80
6日00	6日00	5日00	5日00
6日00	6日00	5日00	5日00
6日00	6日00	5日00	5日00

合計 22日00

① 「森町出張費」 《洋紙1枚》

森町出張費

7月10日 見取伊原 神楽、神楽、神楽 (各1回 → 森) 12.56
 茶、ベントウ、ビニ(用豆) 1.40
 1.50

11日 ビニ(3回)、豆 1.07
 菓子、松葉 0.45

12日 乾魚、缶、墨汁 0.60
 カラシ、毛布 1.15
 人史、 1.00

14日 小包系 0.25
 神楽、神楽、神楽 (森 → 札幌) 7.00
 渡辺、神楽 (札幌 → 森) 3.50

15日 カラシ 0.65
 茶(森へ) 0.38
 飲料茶元 1.00

16日 中川、巡査、果物 0.80
 人史代 22.00
 福、草紙、右、右、用紙代 (坂、坂商店) 5.33
 阿部、旅館、縮、縮、縮 52.55

17日 見取、伊原、渡辺、神楽 (森 → 札幌) 7.57
 (森 → 札幌、要、研、券) 1.95

外二 渡辺、神楽、神楽、小包、神楽 (森、森) 15.00

合計 136.71

不足額 36日71、教室費、初、立、替。

出張旅費 { 伊原 40.00
 渡辺 30.00
 神楽 30.00 }
 計 100.00

受領証

一 金六圓也

右正ニ受領候也

昭和十年七月十六日



受領証

一 金六圓也

右正ニ受領候也

昭和十年七月十六日



受領証

一金五圓也

右正 = 受領候也

昭和十年七月十六

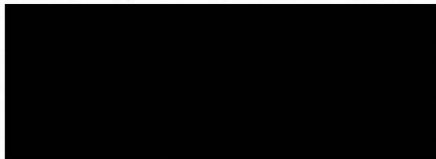


受領証

一金五圓也

右正 = 受領候也

昭和十年七月十六



【資料8-7】「墓地買入に関するメモランダム」《洋紙1枚》

墓地買入	二等地	金五系	
墓標		金二系七十文	
僧侶謝礼	(三人)	金十系	5.00
花扱料		金十系	22.70
供物		金一系九十三文	1.93
餅茶茶粉代		金一系七十文	1.07
供養花		金五十銭	30.70
新箱費	(<u> </u> 小使銭)	金五系	5.00
			<u>31.20</u>
			36.20

【資料9-1】1935年7月17日付兒玉作左衛門宛て落部村長萬清治「承諾書送付ノ件」《北海道茅部郡落部村役場野紙1枚》

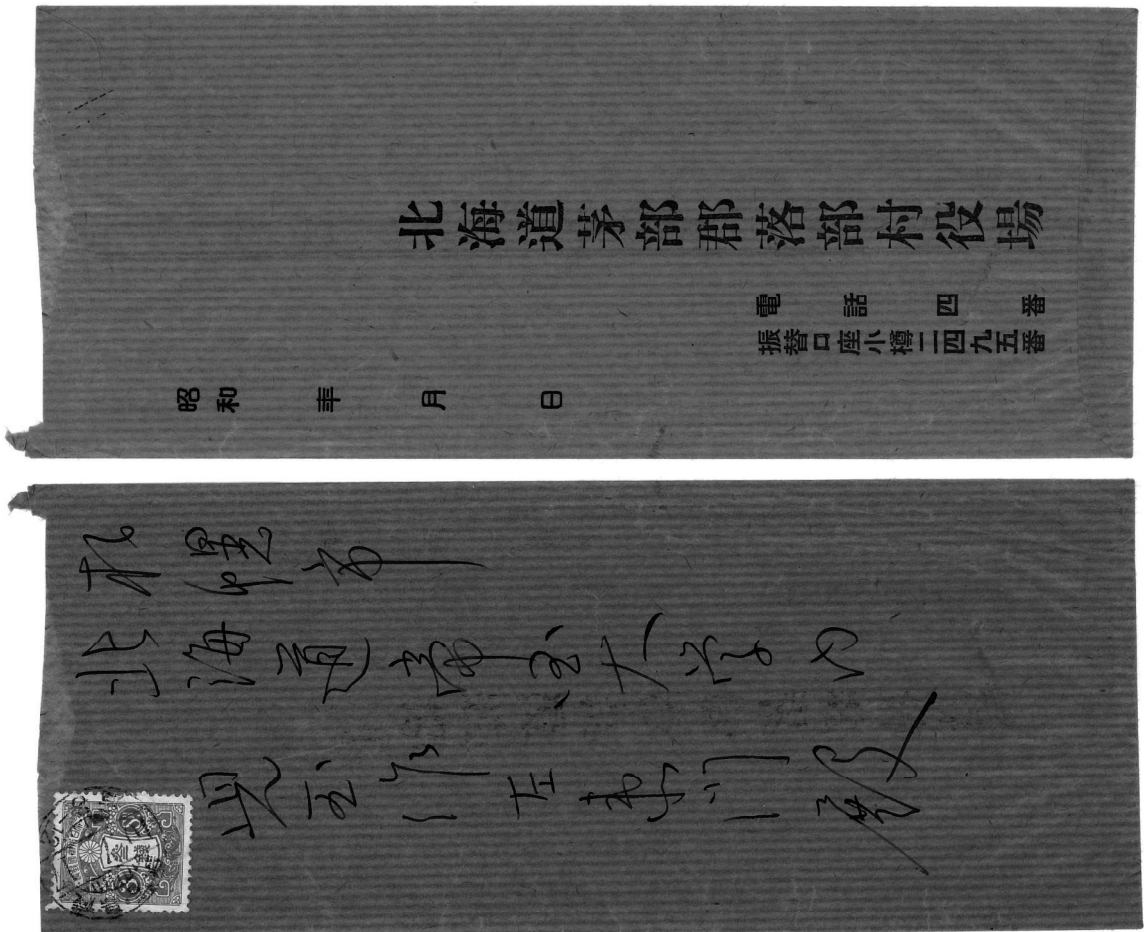
北海道茅部郡落部村役場

茅部郡落部村長萬清治

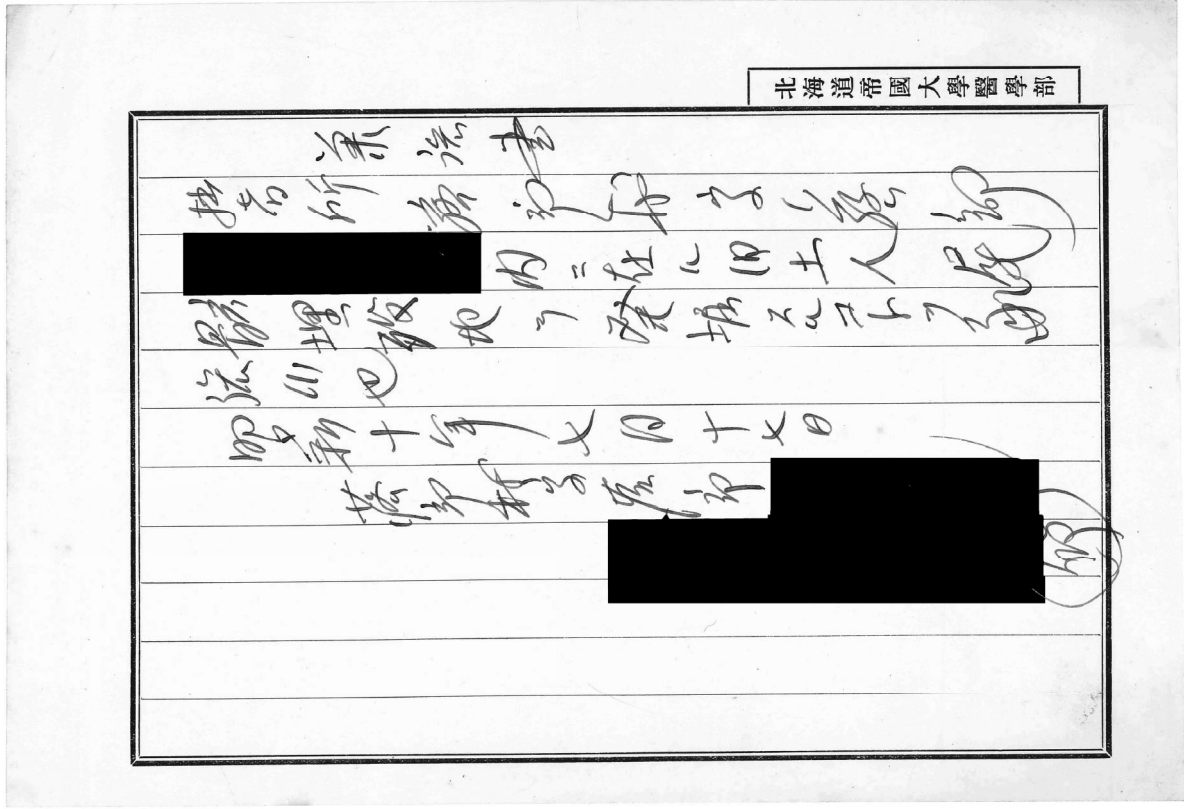
昭和十年七月十七日 承諾書送付ノ件

中依頼有之儀 旧土人ノ死骸埋設地發掘ニ関スル 右土地所有者ノ承諾書別紙ノ通り及送付儀也

【資料9-2】 1935年7月17日付消印の落部村役場「封筒」 《封筒1通》



【資料9-3】 1935年7月17日付9A「承諾書」
《北海道帝国大学医学部罫紙1枚》



人骨發掘許可願

- 一發掘、目的 學術研究、為
- 二發掘、場所 北海道茅部郡落部村字落部
[redacted] 所有畑地
- 三發掘、年月日 昭和十年 月 日
- 四人骨、處方法 北海道帝國大學醫學部ニ保存
- 右ノ通人骨發掘致度候間御許可相成度
- 別紙關係書類（發掘地所有者、承諾書）添付
- 此段相願候也

昭和十年八月 日

北海道帝國大學醫學部長

山上熊郎

北海道帝國大學醫學部

北海道廳長官佐上信一殿

【資料9-5】「土地所有者 9A 及び所有地に関するメモランダム」
《北海道帝国大学医学部罫紙 1枚》

北海道帝国大学医学部

昭和十年八月~~十日~~交付、人骨発掘許可願中ニ在リ
 発掘ノ場所ハ、流部共同墓地ヨリハ十数丁離
 レトハ、何寺宗係ナキモノニシテ^{流部}申付地ノ
 人家ノ裏手ニ在リ、現在耕化中ノモノニシテ之
 近モ往々人骨或ハ金物類(アキ、カマ等)ノ
 出テマレコトアリト~~傳~~言ハレ、流部土人ニ属スルモノナリ
 ト云ハル。該土地所有者 [REDACTED] ハ之ヲ爰
 ヒテソノ^{流部}職ヲ希望モルモノナルガ若シ北海道
 帝国大学医学部^{流部}が^{流部}研究、爲メ発掘保
 存モルコトハ甚カク好都合ナリトウフ意向ヲ有ルモリ。

【資料9-6】1935年9月3日付北海道帝国大学医学部長宛て北海道庁長官「亥
 兵第七四二号 指令」《北海道庁用紙 1枚》

北海道廳

(森警察署經由)

亥兵第七四二號 指令

北海道帝国大学医学部
 山 上 熊 郎

昭和十年八月十九日 願人骨發掘ノ件許可ス但シ左ノ通心得ベシ

昭和十年九月三日

北海道廳長官 佐 上 信 一

記

「發掘ヲ終リタルトキハ其ノ願末ヲ届出ツベシ

【資料9-7】「落部村メモランダム」

《北海道帝国大学医学部罫紙 1枚》

北海道帝国大学医学部

一. [redacted] 宛の十日「函箱出張一日不在故、十日午後以後」
 「落部ニ居ラレル由」

二. [redacted] / 祖先ノ墓ニ「落部村^{イモ}犬王字 [redacted]」ニ四五丁、
 落部^{イモ}約一里余山中ニアリ。 [redacted] 宛「塙ヲモヨソトイフ」
 ヲ土地ノ小作人 [redacted] 宛モ不積成トイフ程^{イモ}「ナイアトイフ」

三. 石碑ヲ共同墓地へ移ス^{イモ}。並ニ木柵ヲ塙^{イモ}地ニ建テル
 コト「先生が落部ニ不出テモツツカラ相談ヲモウリテ、

四. 八雲^{イモ}宛「 [redacted] 宛」目下不在。日高^{イモ}へ行キ居ル由。

【資料9-8】1935年9月9日付児玉作左衛門宛て9B「受領証」・

内訳別紙3枚 《北海道帝国大学医学部罫紙4枚》

北海道帝国大学医学部

金五拾九圓九十銭也
 金拾八圓貳拾銭也
 金九圓四十五銭也
 金八拾七圓五拾五銭也
 右 [redacted] 取候也
 昭和五年九月九日
 [redacted] 落部村
 北海道帝国大学医学部

合未償

四、五、六日 各五人 合計 十五人

七、八日 各七人 合計 十四人

續作九、十日 各七人 合計 十四人

總計 四十三人

一、二月三十日 割

△金五拾五圓九十錢也

希標地之 金四圓也

大計 金五拾九圓九十錢也

草堂地 草堂標 金七圓也

供物 菓子 金五十錢也

佳職 以礼 金七圓也

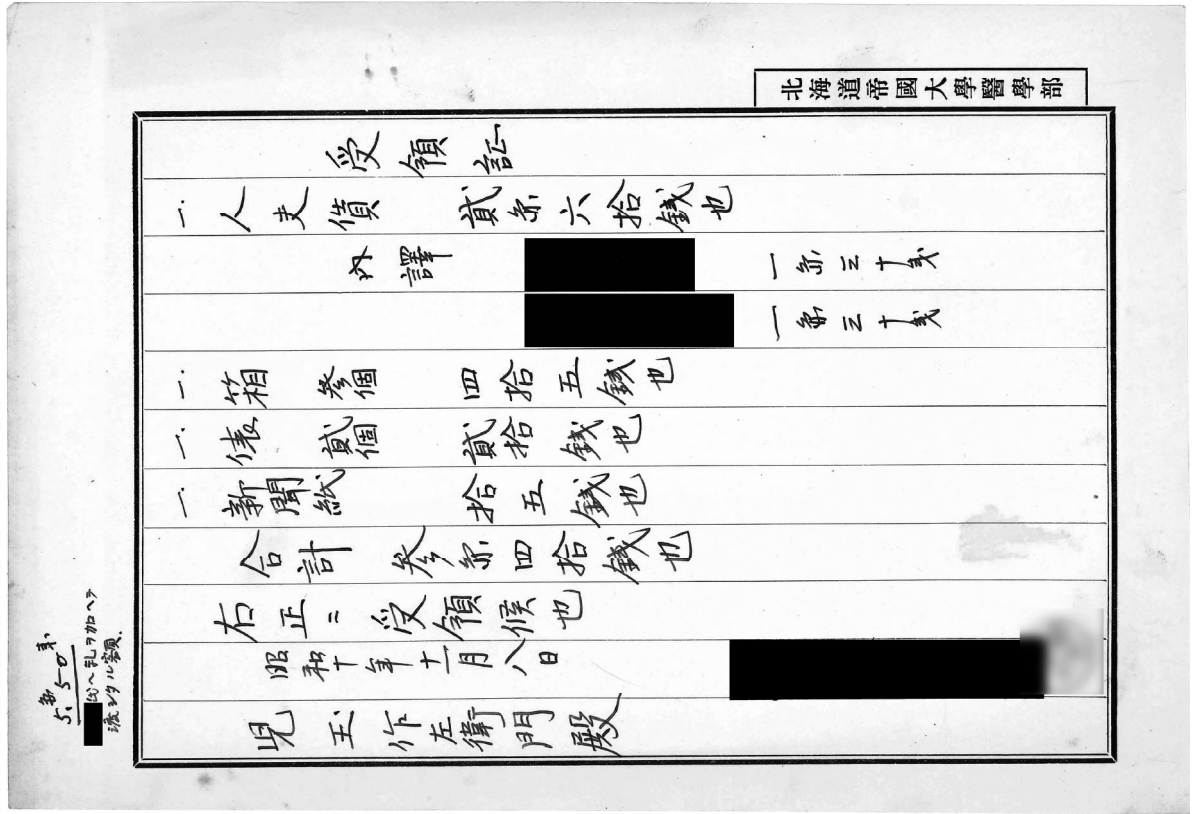
以酒 二件 金參圓也

多バコ (心以上) 十個 金七十錢

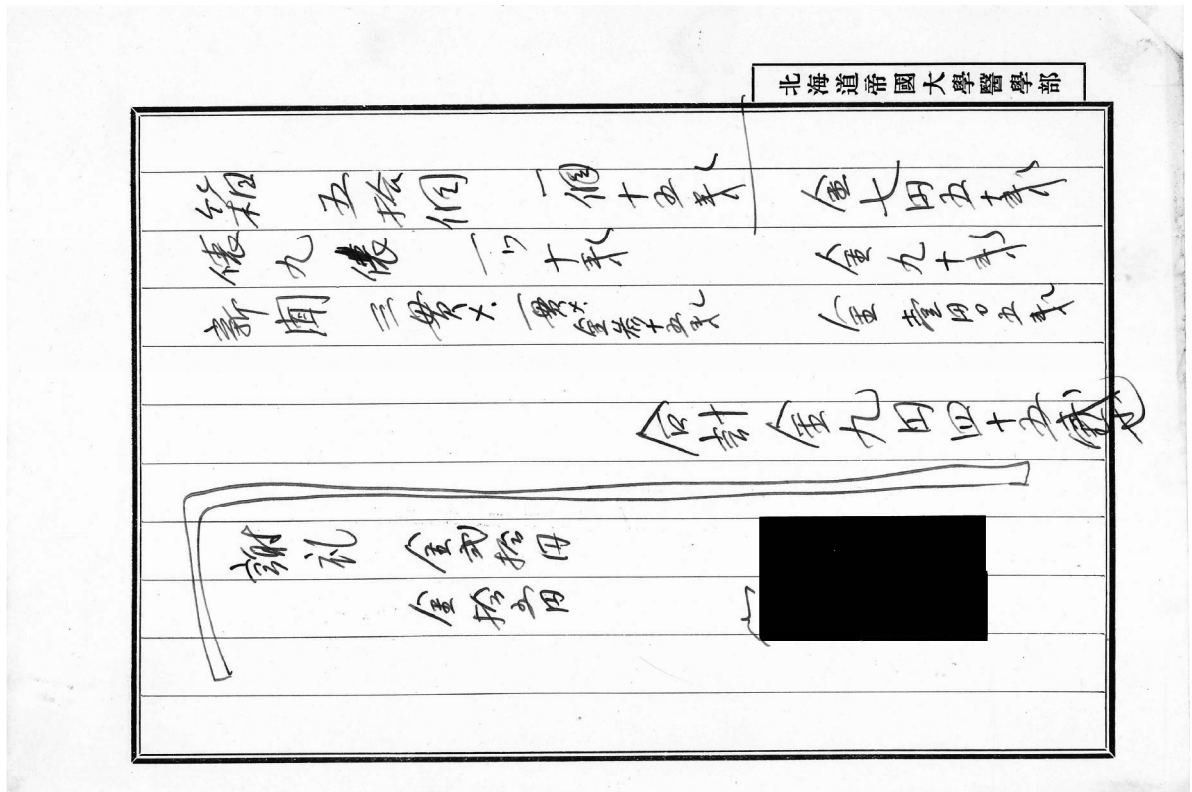
△金拾八圓貳拾錢



【資料9-9】 1935年11月8日付兒玉作左衛門宛て9B「受領証」
 《北海道帝國大學醫學部郵紙1枚》



【資料9-8】



樺太舊土人ニ関スル調査研究

日本學術振興会第八小委員会ハ昭和十一年度ニ於ケルアイヌ
研究ニ関シ尤ノ如キ打合ハヒヌナセリ。

一 研究場處……………樺太ニ於ケル土人部落

一 調査方法……………樺太廳ノ厚意ニヨリ又ノ如キ方法トナス

- (一) 戸口調査 別紙戸口調査委員ヲ囑託シ昭和十一年六月二十日現在ニ於ケル特定戸口調査ヲ行フ
- (二) 全事務ノ取扱ニ関シ樺太廳地方課屬肥後麗夫氏ヲ本会ノ囑託トス
- (三) 研究事項及ビ担任者氏名尤ノ如シ

日程

(1) 生理学的研究……………	永井 潜	(東大教授)
(2) 民族衛生学的研究……………	古厚 芳 雄	(金大教授)
(3) 体質人類学的研究……………	山崎 善 雄	(北大教授)
	兒玉 作 五 門	(同上)
(4) 寄生虫学的研究……………	今 裕	(同上)
(5) 衛生学的研究……………	井上 善十郎	(同上)
(6) 内科学的研究……………	有 馬 英 二	(同上)
(7) 眼科学的研究……………	成 智 貞 見	(同上)
(8) 精神病学的研究……………	内 行 祐 之	(東大教授)
(9) 皮膚科学的研究……………	高 橋 信 吉	(長大教授)

「診療班及ビ調査班巡廻場處

多蘭泊、登富津、富津

「調査班 白浜、新問、敷香（時ニヨリ若帆ニ行クコトアルベシ）

註：圖中 □印ハ宿泊地



一日程

巡 廻 日	診 療 班	調 査 班	
		A班 (若帆見廻)	B班 (登富津水宿)
第一日 (七月十三日) 月	(豊原)	多蘭泊 (豊原)	
第二日 (" 十四日) 火	多蘭泊 (豊原)	登富津 (野田)	(豊原)
第三日 (" 十五日) 水	登富津 (野田)	(若帆)	多蘭泊
第四日 (" 十六日) 木	(若帆)	白浜 (若帆)	登富津
第五日 (" 十七日) 金	白浜 (若帆)	高取 (高取)	(若帆)
第六日 (" 十八日) 土	高取 (高取)	新問 (高取)	白浜 (若帆)
第七日 (" 十九日) 日	湖沼島行 (夕刻出航)		富津
第八日 (" 二十日) 月			
第九日 (" 二十一日) 火	新問 (敷香)	オクス (敷香)	新問 (敷香)
第十日 (" 二十二日) 水	オクス (敷香)	(豊原)	オクス (敷香)
第十一日 (" 二十三日) 木	(豊原)	—	(豊原)

右日程ハ交通機関ノ関係ニヨリ二三日ハ延長スルコトアルベシ。A班トB班ハ二日ノ間隔、A班ト診療班ハ一日ノ間隔。

一 診療班ノ構成員

永井、古屋、有馬、越智、内村、高橋 他約三十名

一 調査班ノ構成員

A班 約四名
B班 (智能検査ハ精神科) 井上 他約四名

一 体質人類学的研究ハ適ツテ適當ノ時期ニ行ス

一 手傳人 處立病院ヨリ看護婦四名ノ處振アル等

受付、掃除人、旧工人呼集係等ハ當該部若ニ依頼スルコト

一 寄生虫検査 各器ヲ配付シ小李家ニ依頼シ之ヲ集處シ

適當ノ場處(豊原病院)ニテ検査スルコト

集處セル者ニ送納ヲ贈呈スルコト

一 準備 診療班ニハ數ヶ處(李家教室又ハ雨天作操場)ニ机

腰掛等ヲ用意セラレタズ、境界部ハ診療班持参ノコト

レントゲン検査ハ晝間線ナキ所之ヲナサズ

呼集ニ應ゼル士人ニハ成人一人ニ付二三十錢ヲ與
フルコト、子供ニハキヤラメ此ノ如キモノヲ準備ス

委員、手傳人等ノ晝食ヲ用意スルコト

(以上)

今回ノ研究調査ノ準備ニ當リ榊太處長官、内務部長、警察部長、
調査課長、地方課長、李部課長、警務課長及ビ處立病院院長等ノ多大
ノ援助ヲ賜ハリシコトヲ深謝ス

昭和十二年六月

準備委員 井上 善十郎

〃 〃 岡田 正夫

【資料10-1 補足】「1936年樺太調査日程」《洋紙2枚》

日	月日	所	發時間	着時間
1	十二日	札幌	前二四〇	
	十三日	豊原	後三二〇	前九三五
	十四日	真岡	前六三九	後六三三
2	十五日	夕ノ下	後(二〇二) 六五二	前七三一
	十五日	野田	前八〇五	後(五三〇) 九三二
3	十六日	野田	前八〇五	前八二八
	十六日	野田	前八〇五	
4		真岡	前九二二	前九二八
		豊原	後三二〇	後二一〇
	十七日	落合	前七二〇	後四二一
5		白濱	後四三四	前八二九
	十八日	落合	前七二〇	後六四〇
6		白濱	後四三五	前八二八
		"		

7	十九日	敷春 知取	自動車 後一〇二頃
8	廿日	敷春 新問 知取	宿泊 自動車 前 自動車 真夜中出帆
9	廿一日	海豹島 敷春 知取	後六〇 後十二時取
10	廿二日	知取	午前白野着 後三時着 後三時着

古墳発掘許可願

一 願人

札幌市北海道帝国大学医学部
医学部長 大野精七

二 古墳発掘従事者 左記ニ依嘱ス

札幌市北海道帝国大学医学部
教授 児玉作左衛門

三 発掘目的

學術研究ノタメ

四 古墳ノ名称由來傳説等ナシ

五 古墳ノ所在地

樺太 榮浜郡 榮浜村 大字 榮浜字 [redacted] 及 大字 相浜^{及島礼}

六 管理者ノ有無及其諾否

有ニナシ

七 発掘従事期間

御許可ノ日ヨリ三十日間

右ノ通古墳発掘致度候付御許可相成度此段及願出候也

昭和二年六月 日

右願人

北海道帝国大学医学部長

大野精七



樺太廳長官 今村武志 殿

【資料10-3】「10A 遺骨書類」《封筒1通、①～④同封》

